



## 第14回おおたき国際ノルディックウォーキング

7月14日、大滝総合運動公園で『第14回おおたき国際ノルディックウォーキング』が開催されました。

ノルディックウォーキングは、北欧フィンランド生まれのスポーツで大滝区（旧大滝村）が国内の発祥地とされ、近年の健康志向の高まりもあって注目を集めています。

この日は、やや蒸し暑く感じる天候ながらも、市内外から約360名が参加。大滝区に滞在中のカナダ・レイクカウチン町の訪問団一行もそれぞれのコースに分かれ、大滝区の豊かな大自然に抱かれながら爽やかな汗を流していました。



レイクカウチン町長ご一行も軽やかに出発

開会のあいさつをする菊地会長

## 市民参加の推進のために —意見書提出—

6月27日、市民参加推進会議の高井俊次会長、湯浅勝義副会長から意見書の提出がありました。

これは、平成23・24年度の市民参加の状況などを検証した上で、これから市民参加を進めるためにどんな取り組みをしたらよいかなどの内容をまとめたものです。

会長は「全国でも珍しい取り組みをしている伊達市の先進的な活動をこれからも続けていってほしい」と熱心に語られていました。



意見書を市長へ渡す推進会議の会長ら

花束を届けたくれた園児たち



## きれいなお花、ありがとう

6月21日、伊達幼稚園の年長組の園児6名が市役所を訪れました。

毎年この時期、同幼稚園では神様に感謝する「花の日礼拝」を行っていて、身の回りの人たちにも感謝の気持ちを伝えようと、礼拝後にお世話になっている施設などへ花束を持って訪ねています。

「ありがとう」の元気な言葉と無邪気な笑顔と一緒に彩り豊かな花束を届けてくれた子どもたちに、足田副市長らは口元をほころばせていました。

## 海水浴？追いかけてこ？ 海に入って大騒ぎ！

7月10日、伊達保育所とうす保育所の子どもたちが有珠海水浴場で水遊びを楽しみました。

毎年この時期、同保育所は夏ならではの遊びとして、地引き網体験を行っています。この日は早朝にあいにくの大雨に見舞われてしまい、残念ながら中止になってしまいました。準備をしていた父兄の皆さんの「せっかくの機会が…」との残念がる気持ちもどこ吹く風。無邪気な子どもたちは大好きな水遊びができる嬉しさを全身で表していました。



有珠海水浴場ではしゃぐ子どもたち

表彰状を受け取る太田さん（左）



## 長年の活動、お疲れさまでした — 法務大臣感謝状の伝達式 —

7月5日、人権擁護委員として活動されてきた太田<sup>たくみ</sup>さんに、法務大臣からの感謝状が渡されました。

太田さんは、平成13年7月1日に法務大臣の委嘱を受けて以来、4期12年もの長い活動を終え、今年6月30日で退任。任期中は、特に小学校での人権教室に積極的に取り組むとともに、地域の人権相談でも適切なアドバイスをするなどさまざまな悩みを抱える方に寄り添い、問題の解決に向けて尽力されました。



## FMびゅーの収録 元気にさわやかに

7月17日、関内小学校の放送室でFMびゅーのラジオ番組「だてラジオ宅配便」の収録があり、その様子は7月23日に放送されました。

収録準備のときから興味津々でのぞきにきた数人の児童たちが、見たことのない機材を手慣れた様子で操り準備をする担当者に「FMびゅー、知ってる！」と声をかける場面も。

全校児童での校歌斉唱のあと、高学年の児童11名が関内小学校独自の行事を大きな声で話してくれました。

初めての体験に緊張しつつも、手書きの原稿を見ながら一生懸命話す児童たちの様子は、微笑ましいものでした。



全校児童で校歌を歌いました



学校紹介をする高学年の児童たち